

ヨコハマ人・まち

-まちの人がまちをつくる-

発行：横浜市 都市整備局 地域事業部 地域整備支援課 Tel:045-671-2696 Fax:045-663-8641

Email:tb-chikimachi@city.yokohama.jp

[ヨコハマ人・まち 目次] ……◆まちづくり支援団体の紹介

●「まちづくり支援団体」とは?●

まちづくり支援団体とは、地区計画や都市計画提案制度、再開発事業などに関して、市民・まちづくり団体からの相談受付や初動期の活動支援を行う団体です。

現在、まちづくり支援団体として横浜市に登録されているのは5団体。それぞれどのような団体なのか、そのプロフィールをご紹介します。



◆まちづくり支援団体の紹介

今回ご紹介する5団体は

今回ご紹介する5団体は「文化メリックを創る会」、「横浜市まちづくりセンター」、「横浜青葉まちづくりフォーラム」、「日本都市計画家協会 横浜支部」、「横浜プランナーズネットワーク」です。いずれもまちづくりに関わる活動をしている特定非営利活動法人=NPO法人です。各団体ともNPO法人となったのは過去3年以内と比較的新しいのですが、いずれも法人化以前から任意団体などとして活動しており、前身となる組織での長い活動実績があります。

設立の目的やきっかけ

ひとまちにまちづくりのNPOといっても、設立の目的やきっかけはさまざまです。例えば「横浜プランナーズネットワーク」は横浜で都市計画やまちづくりの仕事に関わっていた人たちがお互いの情報を共有化するためにネットワークを作ったことから始まりました。また「横浜市まちづくりセンター」のように建築事務所協会のまちづくり委員会が発展して発足した事例もあります。また「横浜青葉まちづくりフォーラム」は横浜市都市計画マスタープラン青葉区プラン作りに参加した公募市民のメンバーが集い設立されました。

1 日本都市計画家協会



活

動の内容も多彩です。「日本都市計画家協会 横浜支部」では以前から自主研究会や横浜都心部の再生と歴史資産の保全活用をテーマとする国際シンポジウムなどを開催してきましたが、現在は横浜の旧都心である関内地区の再整備に関する研究会を立上げ、活動の柱と位置付けています。この研究会では地域の人たちとつながりを持ちながら街区全体をどう整備していくか（関内地区の古い建築物の建替えをどうしていくか、あるいは地区内で増えているマンションに対応して、生活しやすい街への提案など）について具体的な提言をしていく予定です。さらに同団体では将来的にはまちの再整備の中で新しいビジネスモデルをどう構築していくか、といったことについても提案していきたい、としています。



2

文化メリットを創る会

一方「文化メリットを創る会」では、ハード整備だけではなく市民活動というソフト面・文化面の活性化に重点をおいた活動をしています。例えば住宅街の中に、横浜で活躍するアーティストが作品としてデザインした煉瓦造りの壁や塀を設置する試みもその一つです。このように街中にアートを取り入れることで、ふだん美術館へ行かない人でも生活の中でアートに興味を持つきっかけ作りをしたり、地域のアーティストを地域の人々が支えて活動できる仕組みを作ったりすることを目指しています。また2年前からは横浜市の日ノ出町で商店会の人たちと一緒にまちの活性化策をプランニングし、今年7月には横浜市の「ヨコハマまち普請事業」の一次



コンテストに「(仮称)日ノ出大明神プロジェクト」を提案しました。このプロジェクトでは「日ノ出大明神」と名づけた“街の守り神”をまつり、まちの人とアーティストが一緒になって商店のシャッターに大明神や七福神のイラストを描いたり、関連グッズ

を作成したりするといった、とても賑やかで多彩な活動イメージが膨らんでいます。

3

横浜青葉まちづくりフォーラム

「横浜青葉まちづくりフォーラム」は横浜の中でも新しいまちである青葉区を中心に活動する団体で、区内の自治会等の発意で行われている地域まちづくりの支援や、災害直後に公的支援が届きにくいと予想される地域で防災体制づくりの支援を行っています。また現在、会内部の人材育成も兼ねて会員が講師となる連続セミナー「まち・ひと講座」を開催中で、これまでに子ども、安心、景観、交通の4つのテーマで開催しました。今後も元気、青葉をテーマに実施する予定です。なお同会では「地域価値の向上」を会の目的に掲げており、便利なだけでなく環境や景観が良いまちづくりを進めることで自分達の住むまちの価値を高めていきたいと考えているそうです。そのためには例えば景観を守るための自主的なルールをつくりたいと考える人たちに、いろいろな制度の紹介をするなど様々な支援をしています。一方、現段階でそういうことを考えていない人たちに対しては「ルールをつくったらどうですか」と問いかけをして、緩やかなルール作りを広げていきたいとしています。

4

横浜フランソースネットワーク



「横浜フランソースネットワーク」は、市民による自発的なまちづくりの支援を目的に設立され、これまでに、「都市デザインフォーラム」「コラボレーションフォーラム」「地域まちづくりフォーラム」などの運営支援をはじめ、「鶴見区都市マスタープラン」や「鶴見川流域環境整備構想」などの計画策定に携わってきた実績があります。2000年には行政や民間研究者とともに「郊外生活研究会」を立ち上げ、「コミュニティ・リバイバル研究会」が引き継ぐ形で、横浜市の郊外住宅地がどうなっていくのか、ビジュアルで分かりやすいデータを市民に提示できるように研究を続けています。このほか鶴見区平安町での「安全安心マップ」作りにも関わっています。ここでは単なる防犯マップ作りではなくお年寄りが地域のどこにいるのか、というような地域が自主的に持つ情報まで含めたマップづくりが進められています。今年度からは、地域再生の人材養成を目的として横浜国立大学が始めた講義(14回連続)の企画、運営に参加。会員を毎回2~3名講師として派遣し、約280名の学生を対象として地域におけるまちづくりの現場の話などを中心に講義を行うなど地域や大学との連携も図っています。

5

横浜市まちづくりセンター

「**横浜市まちづくりセンター**」は横浜市 18 区に事務所を開設している会員が集合住宅・戸建住宅・店舗設計等に携わる人たちを中心に、地域の特性を生かした視点からまちづくりに関するアドバイスをしています。「いえ・みち まち改善事業」を始め3年前に緑区で始まった住マイルアドバイザー事業は、介護保険の住宅改修や高齢者の住宅の工事内容や改修費用が適切かどうかのチェックを、区の福祉保健サービス課と連携して実施しています。この制度は現在では横浜市福祉局の住環境整備事業として全市的に拡大して行われています。またこれ以外の自主事業（違反建築物是正指導等調査業務事業）として、昨年からはセミナーを実施し、今年には住宅リフォームのトラブル防止をテーマにした講演や耐震等の相談会を開催しました。

●防災まちづくりへの支援

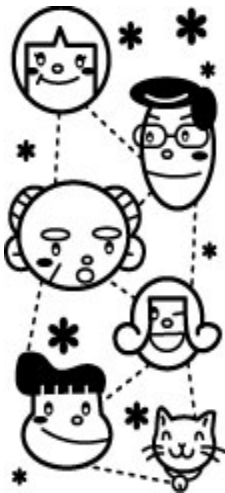
「横浜プランナーズネットワーク」と「横浜市まちづくりセンター」は横浜市都市整備局の「いえ・みち まち改善事業」の支援団体にもなっています。これは木造が多い密集市街地において耐震改修などを促進するために、住民主体で立上った協議会に情報提供や意識啓発などの支援をするものです。具体的には対象となる横浜市内の密集市街地での勉強会やまちあるきの開催支援・地域向けのニュース作りの支援を通して、密集市街地の危険性を地域住民に認識してもらえるよう活動を展開しています。



◆「いえ・みち まち改善事業」でのまちづくり検討会（勉強会）の様子【写真提供：横浜プランナーズネットワーク】

●多様な人たちが参加するまちづくりNPO

一般的にまちづくりという言葉を聞くとハード整備のイメージを思い浮かべますが、まちづくりはハード整備だけでなく、まちに暮らす人々の市民活動まで含む広範な領域にまたがって成り立っています。このため、まちづくりNPOの活動にも都市計画や建築といったハード整備の専門家だけでなく、文化・芸術、福祉、環境保全など非常に多岐にわたる分野からたくさんの人たちが参加しています。例えば「文化メリットを創る会」ではアーティストやスポーツ指導者、映画監督などが会員となっていますし、「日本都市計画家協会」には大学教員やジャーナリストのほか、研究会などには主婦の方も参加しているそうです。また「横浜プランナーズネットワーク」では福祉や環境保全など他分野のNPOや大学などとも幅広く連携しながら活動していますし、「横浜青葉まちづくりフォーラム」でも10代の学生から80歳代の方まで幅広い人材が集まっているといえます。



このように多様な人材が集うことにより、まちづくりNPOは地域のコミュニティ作りやそこに住む人々の市民活動の活性化支援といった部分まで守備範囲とすることができるようです。現在のところ各団体とも積極的に会員を増やすことは考えていないようですが、なかには一般参加も可能な研究会やシンポジウムなどを開いている団体もあります。またこれまで行政を通じた支援活動が主でしたが、今後は市民から直接相談が受けられるように対応していきたいと話す団体もあります。

これらのまちづくりNPOは豊富な実績と多彩な人材を持ち、行政とは異なる視点・立場で地域住民の自主的なまちづくり活動を支援できる利点もあることから、今後ますます地域住民からの相談対応や支援に大きな力を発揮すると考えられます。

横浜市のまちづくり支援団体の派遣制度はまだ始まったばかりですが、今後この制度が積極的に活用されることが期待されます。

まちづくり支援団体のプロフィール

★日本都市計画家協会 横浜支部 [2005年NPO法人日本都市計画家協会横浜支部として発足]

<http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/tikukeikaku/tosikeik.pdf>

2003年に前身の組織「横浜の集い」の活動開始。その後定例会や国際シンポジウムを開催。2005年からNPO法人日本都市計画家協会の横浜支部として正式に発足し、横浜市関内地区の再整備に関して研究会を立上げた。

★文化メリットを創る会 [2003年設立 (2005年NPO法人化)]

<http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/tikukeikaku/bunkamer.pdf>

現在、横浜市日ノ出町のまちづくりに参加。空き店舗の活用や「日ノ出大明神」プロジェクトなど市民参加のまちづくりを支援。街中に地元のアーティストがデザインした煉瓦造りの建造物の設置なども進める。

★横浜ランナーズネットワーク [1998年設立 (2006年NPO法人化)]

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Hinoki/5079/>

<http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/tikukeikaku/yokopla.pdf>

「鶴見区都市マスタープラン」などまちづくり計画策定の参加多数。「防災まちづくり支援団体」として密集市街地の改善に向けた地元住民の支援も行う。また鶴見区内では「安全安心マップ」の作成支援なども手がける。



★横浜市まちづくりセンター [2002年設立 (2002年NPO法人化)]

<http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/tikukeikaku/matisen.pdf>

防災まちづくり支援、住環境整備事業、違反建築物是正指導等調査業務事業など。耐震改修やシックハウス、住宅リフォームなど住宅に関わる問題についての相談に対しても対応可能。

★横浜青葉まちづくりフォーラム [2001年設立 (2003年NPO法人化)]

http://www.geocities.jp/aoba_machi/

<http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/tikukeikaku/aobaforu.pdf>

都市マスタープランの青葉区プラン（地区プラン）づくりに参加した市民メンバーが中心となって設立。地域価値の向上を目的に、地域のまちづくり支援や地域防災体制の整備を行う。人材育成も兼ねた連続セミナー「まち・ひと講座」も開催中。



★今後の「ヨコハマ人・まち」発行予定は以下の通りです

●平成 18 年3月初 第 16 号発行

●平成 18 年3月 第 17 号発行

★「ヨコハマ人・まち」への情報提供を募集します。

・まちづくりに関わるイベントや参加者募集などPRしたいこと

・地域で行っているまちづくりの取り組み

●情報提供はこちらへ

横浜市都市整備局 地域事業部 地域整備支援課

Tel:045-671-2696 Fax:045-663-8641

Email:tb-chiikimachi@city.yokohama.jp



地域まちづくり推進条例が施行（昨年 10/1）されて、早くも4ヶ月が過ぎました。その間、地域まちづくりグループの登録や地域まちづくり組織・ルールの認定などが進んでいます。（次号 16号をご覧ください）

ヨコハマ市民まち普請事業も、12月の2次コンテスト通過グループによるハード整備がいよいよスタートしようとしています。

そのような中、地域まちづくり紙面講座の前準備を進めています。

いろいろとワクワクするような毎日ですが、さらにまちづくりを盛り上げていけるよう、ヨコハマ人・まち「まちの人がまちをつくる」をモットーに取り組んでいきたいと思っています。（地域整備支援課：中澤）

